

瀬戸内の多島美や瀬戸大橋を一望できるロケーション、塩の町・宇多津を今に伝える復元塩田、恋人の聖地のモニュメント、子どもたちの歓声が絶えない遊具広場…。かつて日本一の規模を誇った186秒の塩田跡の北西端に位置する道の駅「恋人の聖地 うたづ臨海公園」(香川県宇多津町浜一番丁)は、さまざまな魅力が詰まった複合施設だ。

⑬ 恋人の聖地 うたづ臨海公園(香川県宇多津町)

塩田を復元 技法伝える

広さは5・6畝。約2キの緑地がある。1989年にオープンし、2009年に現在の姿にリニューアルした。町制90周年事業として昔

ながらの技法で天然塩を作っている。天然塩は年間約2トを生産。町特産品の塩を産。町特産品の塩を産。町特産品の塩を産。



塩の町・宇多津を今に伝える復元塩田。昔ながらの技法で塩が作られている。



の複合型商業施設の映画館では、この塩を使ったポップコーンを来年度で販売している。塩田に隣接するうたづ海ホテルは、カフェやFMスタジオなどを備えた情報発信基地。特産品の販売コーナーのほか、塩について学べるタッチパネルや映画やバレンタインデーもあふれ、緑地内の遊歩



恋人の聖地を示すモニュメント。結婚式の前撮りで訪れる人も多い

【メモ】高松自動車道坂出インターチェンジ(IC)から車で約10分。JR宇多津駅から徒歩で約15分。駐車場は約250台。問い合わせは、うたづ海ホテル(月曜休館) 電話0877(49)0860。

〈随時掲載します〉

(四国新聞)